

令和元年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

平成29年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金実施要領」(平成28年4月1日付け27農振第2326号農林水産省農村振興局長通知)別紙3の第7の1の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			H29	H30	H31		
福島県	矢祭町	やまつりまち・ひと・みらいづくり協議会	●	●	■	A	ゆずの不作により一部実績が目標に届かなかったが、地域資源の活性化に向けた取り組みや商品開発等が次世代人材育成も絡めて地域が一体となって取り組むことができている。A評価とする。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金実施要領別紙3の第7の1の規定に基づき、第三者である 小寺徹氏 から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

小寺 徹 氏

【意見聴取の概要】

取組状況については、当初計画に沿って概ね順調に進められておりA評価と考える。事業実績については、ゆずの不作により「ゆず販売額」が目標を大きく下回っているが、他の2つの目標は目標額を達成しているためA評価とする。実施体制については、活動に多くの方が関わる等町を挙げて住民を巻き込んだ活動となっていることから、A評価と考える。よって全体評価は「A」とした。

別紙2

(任意評価様式第3号)

令和元度	事業開始 3年目	福島県東白川郡矢祭町	やまつりまち・ひと・みらいづくり協議会
------	-------------	------------	---------------------

農山漁村振興交付金（山村活性化対策）

○事業の実施状況

事業実施3年目にあたる今年は、昨年の取り組みをベースに、より実践的な事業を行うため以下のような取り組みを実施した。なお、取り組み実施に当たっては、「鮎」と「ゆず」の専門部会を設置し、概ね1月に1回程度の会合を設け、意見交換を行っている。

<協議会全体>

- ・外部コンサルタントへの現状分析委託と部会を通じた関係者間の認識共有。
- ・専門家を招聘しての事業実施等。（「ゆりがねのやな」、「パソナ農援隊」等）

<あゆ専門部会>

- ・「やな場」設置、やな場における鮎採取
- ・あゆ釣り大会「やまつりCUP」の開催。
- ・鮎を活用したメニューの開発

<ゆず専門部会>

- ・ゆず加工品のパッケージ開発研究。（「ゆずゼリー」「ゆずジュレ」等）
- ・域外への情報発信、消費拡大。
- ・ゆずを活用したメニューの開発



○今後の事業構想

事業３年間の成果を活かして、地域資源である「鮎」と「ゆず」の更なる活用を図っていくため、以下のような活動を行う。

<あゆ専門部会>

- ・専門部会の場を活用した定期的な情報交換の実施。
- ・地域資源PRイベントとなる「アユ釣り大会」の継続開催及び資源活用の拠点となる「やな場」の試験設置。
- ・「鮎」を活かした新商品メニューの開発及びPRの実施。

<ゆず専門部会>

- ・専門部会の場を活用した定期的な情報交換の実施。
- ・「ゆずシャーベット」「ゆずゼリー」などの新商品パッケージ開発及び販路開拓・PRの実施。
- ・「ゆず」を活かした新商品メニューの開発及びPRの実施。